

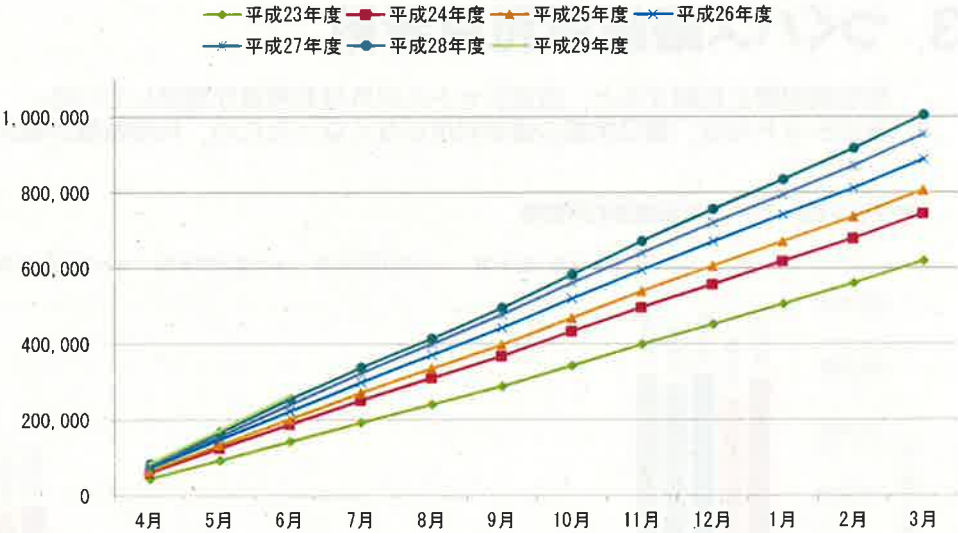
平成29年度第1四半期 つくバス・つくタク利用実績について

平成29年8月10日

つくば市 都市計画部 総合交通政策課

1 つくバス利用者数

第1四半期後計で約263,000人の
利用があり、前年度比で約103%
を占めている。



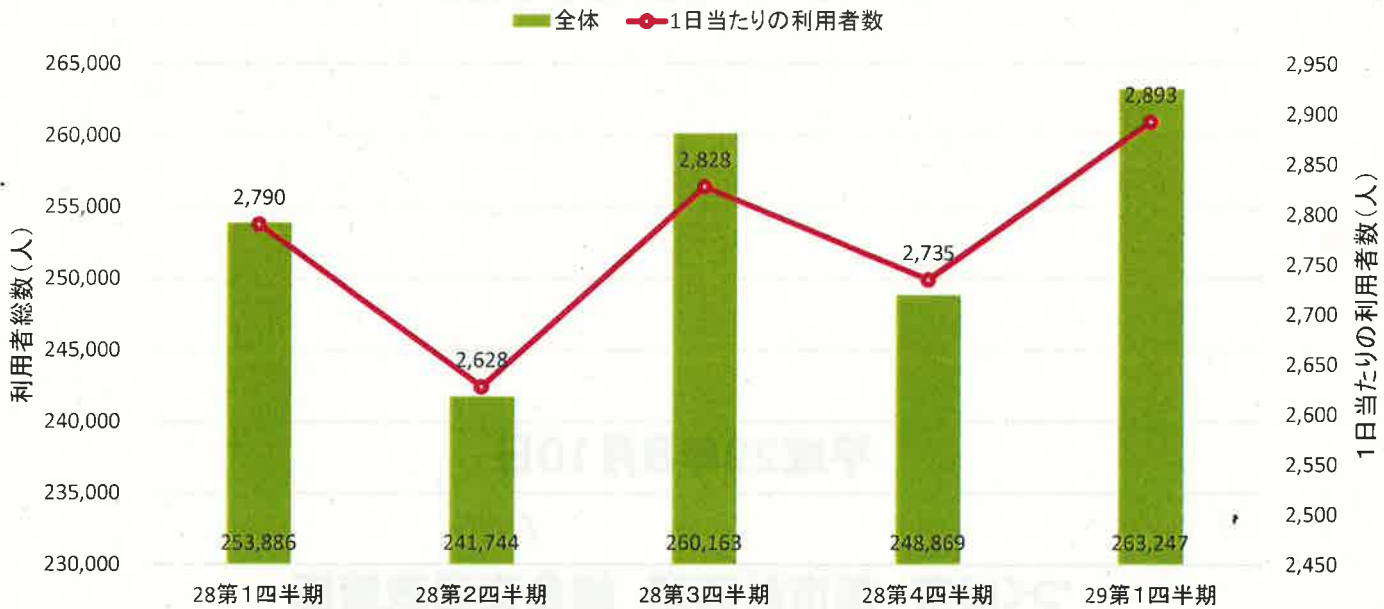
▼表01 つくバス利用者数

	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	利用者(人)	利用者(人)	前年同月比	利用者(人)	利用者(人)	前年同月比	利用者(人)	利用者(人)	前年同月比	利用者(人)	利用者(人)	前年同月比	利用者(人)	利用者(人)	前年同月比	利用者(人)	利用者(人)	前年同月比	利用者(人)	利用者(人)	前年同月比
4月	43,909	61,284	139.6%	64,537	3,253	105.3%	72,833	8,296	112.9%	78,099	5,266	107.2%	82,774	4,675	106.0%	85,331	2,557	103.1%			
5月	47,972	63,538	132.4%	68,640	5,102	108.0%	74,767	6,127	108.9%	77,797	3,030	104.1%	83,169	5,372	106.9%	87,916	4,747	105.7%			
6月	50,391	62,920	124.9%	67,881	4,961	107.9%	74,837	6,956	110.2%	83,722	8,885	111.9%	87,943	4,221	105.0%	90,000	2,057	102.3%			
7月	49,555	62,577	126.3%	69,312	6,735	110.8%	75,830	6,518	109.4%	83,208	7,378	109.7%	83,622	414	100.5%						
8月	48,441	59,775	123.4%	64,553	4,778	108.0%	71,800	7,247	111.2%	77,103	5,303	107.4%	76,183	-920	98.8%						
9月	47,731	57,799	121.1%	63,039	5,240	109.1%	72,685	9,646	115.3%	77,768	5,083	107.0%	81,939	4,171	105.4%						
10月	54,292	65,023	107.3%	70,272	5,249	108.1%	77,412	7,140	110.2%	83,433	6,021	107.8%	87,768	4,335	105.2%						
11月	56,275	63,846	113.5%	70,956	7,110	111.1%	74,872	3,916	105.5%	79,271	4,399	105.9%	88,107	8,836	111.1%						
12月	53,625	61,111	114.0%	67,036	5,925	109.7%	75,254	8,218	112.3%	80,066	4,812	106.4%	84,288	4,222	105.3%						
1月	53,011	60,715	114.5%	64,781	4,066	106.7%	71,805	7,024	110.8%	73,812	2,007	102.8%	78,349	4,537	106.1%						
2月	55,053	60,304	109.5%	65,003	4,699	107.8%	69,833	4,830	107.4%	76,588	6,755	109.7%	82,737	6,149	108.0%						
3月	59,187	65,639	110.9%	70,560	4,921	107.5%	76,104	5,544	107.9%	82,970	6,866	109.0%	87,783	4,813	105.8%						
合計	619,442	744,531	120.2%	806,570	62,039	108.3%	888,032	81,462	110.1%	953,837	65,805	107.4%	1,004,662	50,825	105.3%	263,247	9,361	103.7%			
月平均	51,620	62,044	104.24	67,214	5,170		74,003	6,789		79,486	5,484		83,722	4,235		87,749	3,120				

2 つくバス1日当たりの利用者数

- 1日当たりの利用者数も増加し、1日当たり2,893人の利用がある。
- 昨年度の同期と比較すると、3カ月で合計9,361人の利用者増加があった。

▼グラフ01 つくバス1日当たりの利用者数



2

3 つくバス路線別利用者数

- 昨年度同期と比較すると、吉沼シャトル以外は利用者が増加している。
- 吉沼シャトルは、春日学園の通学利用がなくなったため、利用者数が減少しているようである。

▼グラフ02 つくバス路線別利用者数

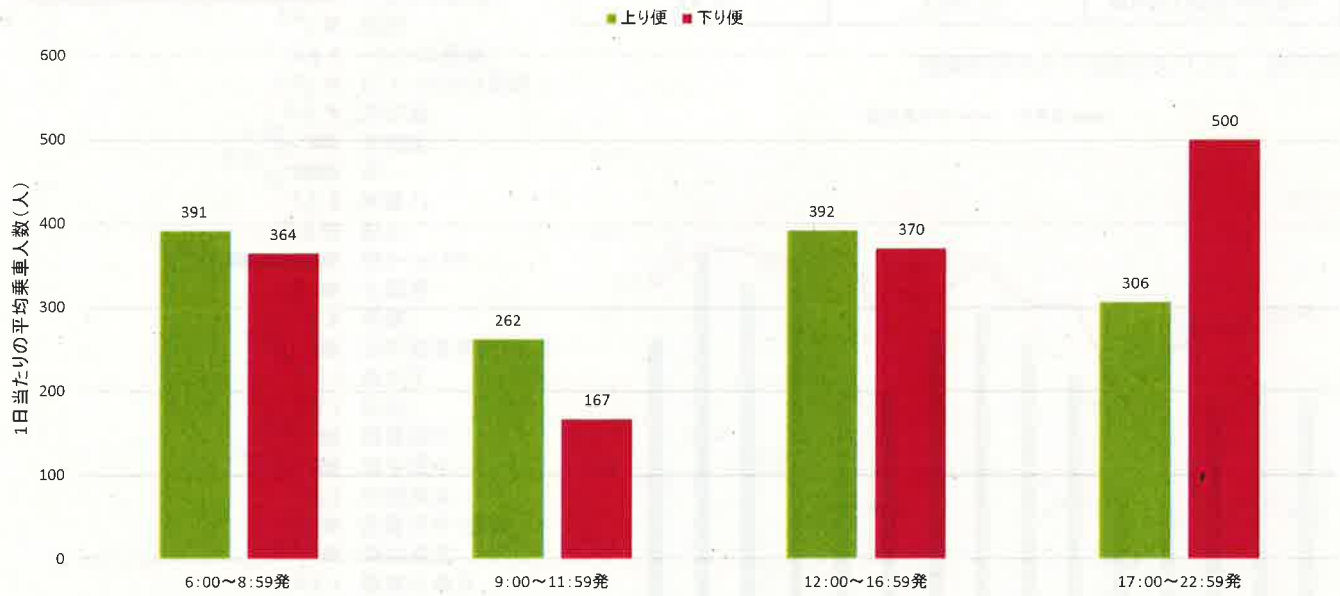


	北部	小田	作岡	吉沼	南部	谷田部	自由が丘	全体
28第1四半期	97,218	22,431	20,326	29,869	56,197	16,720	11,125	253,886
28第2四半期	90,769	21,778	21,262	28,022	54,419	14,672	10,822	241,744
28第3四半期	98,576	23,700	20,946	29,591	57,198	18,870	11,282	260,163
28第4四半期	94,611	23,159	20,045	28,550	54,734	16,629	11,141	248,869
29第1四半期	98,201	24,437	21,832	27,773	57,349	21,140	12,515	263,247
第1四半期比較	983	2,006	1,506	-2,096	1,152	4,420	1,390	9,361
平成29年度1日当たりの乗車人数	1,079	269	240	305	630	232	138	2,893

4 時間帯別乗車人数の推移

- 上り便は朝の時間帯と午後の時間帯の利用が多い。
- 下り便は、夜間の時間帯の利用が最も多い。
- 全体としては、通勤・通学における利用目的が多いため、朝の時間帯と夕方～夜の時間帯の利用が多い傾向になる。

▼グラフ03 つくばバス時間帯別乗車人数



4

5 路線別利用状況【北部シャトル】

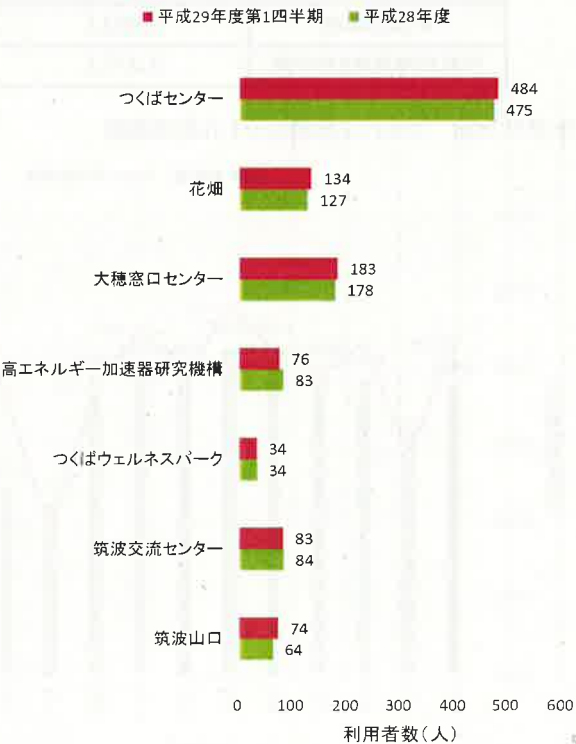
- 昨年度平均と比較すると、利用者数は増加している。1 カ月当たり平均30,900人が利用している。
- 筑波山口、大穂窓口センター、花畑、つくばセンターの利用者が増加している。
- 筑波山口の利用者増加は、広域連携バスの利用増加の影響が高い。

	1月当たりの 平均利用者数	1便当たりの 平均利用者数
平成28年度	29,710人	15.3人
平成29年度第1四半期	30,966人	15.9人

▼グラフ04 つくばバス北部シャトル利用者数



▼グラフ05 つくばバス北部シャトル停留所別利用者数 (日当たり)



5

5 路線別利用状況【小田シャトル】

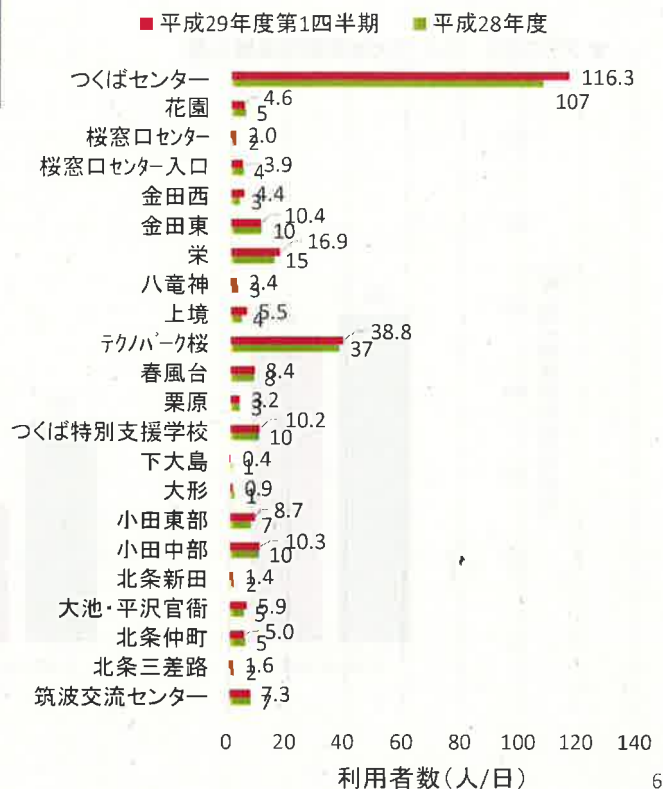
- 昨年度平均と比較すると、利用者数は増加している。1カ月当たり平均約8,100人が利用している。
- 小田東部、テクノパーク桜、栄の利用者が微増しており、つくばセンターの利用者が増加している。

	1月当たりの 平均利用者数	1便当たりの 平均利用者数
平成28年度	7,589人	5.0人
平成29年度第1四半期	8,146人	5.3人

▼グラフ06 つくバス小田シャトル利用者数



▼グラフ07 つくバス小田シャトル停留所別利用者数（日当たり）



5 路線別利用状況【作岡シャトル】

- 昨年度平均と比較すると、利用者数は増加している。1カ月当たり平均7,200人が利用している。
- 大穂窓口センター、研究学園駅の利用者が増加している。
- 昨年度、バス停を設置した長高野でも利用者が定着しつつある。

	1月当たりの 平均利用者数	1便当たりの 平均利用者数
平成28年度	6,882人	7.6人
平成29年度第1四半期	7,277人	7.0人

▼グラフ08 つくバス作岡シャトル利用者数



▼グラフ09 つくバス作岡シャトル停留所別利用者数（日当たり）



5 路線別利用状況【吉沼シャトル】

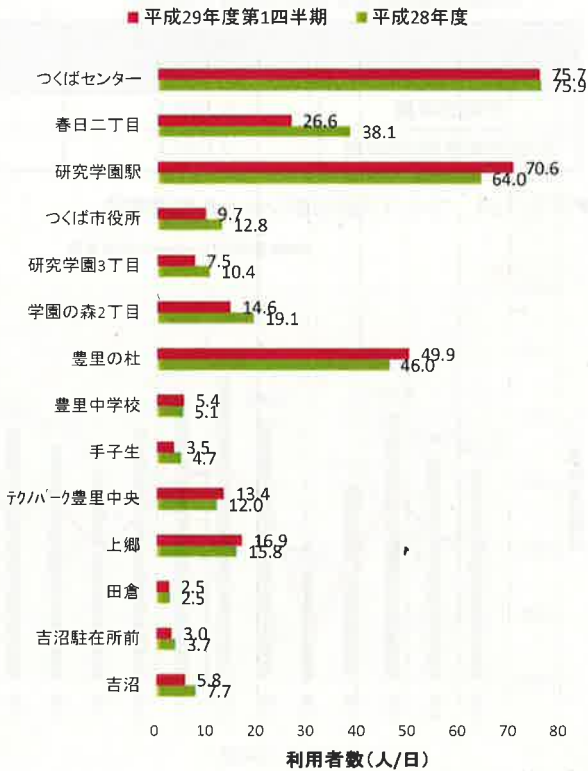
- 昨年度平均と比較すると、利用者数は減少している。1カ月当たり平均9,200人が利用している。
- 豊里の杜，研究学園駅では利用者が増加している。つくばセンターまでの利用者数に変動はなかった。
- 学園の森2丁目，研究学園3丁目，春日二丁目は，春日学園の通学利用が減少した分，利用者減になっている。

	1月当たりの 平均利用者数	1便当たりの 平均利用者数
平成28年度	9,669人	6.9人
平成29年度第1四半期	9,258人	6.6人

▼グラフ10 つくバス吉沼シャトル利用者数



▼グラフ11 つくバス吉沼シャトル停留所別利用者数（日当たり）



5 路線別利用状況【南部シャトル】

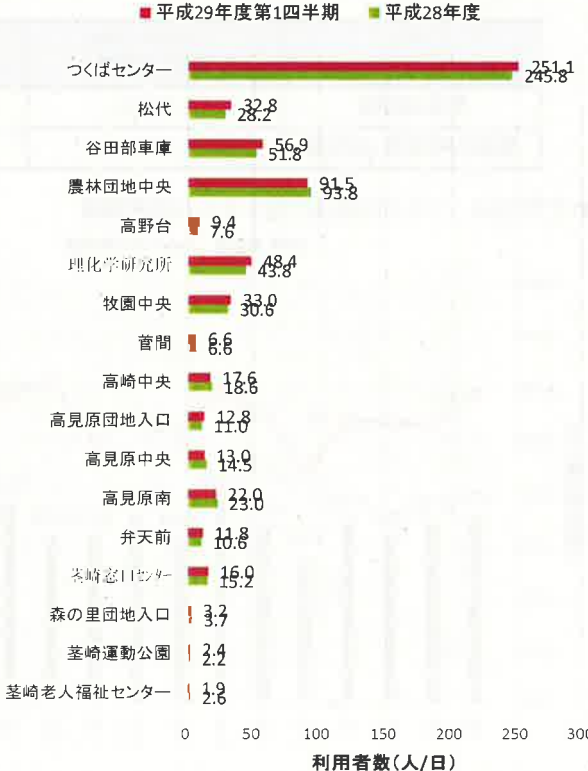
- 昨年度平均と比較すると、利用者数は増加している。1カ月当たり平均19,100人が利用している。
- 牧園中央，理化学研究所，高野台，松代などで利用者が増加している。通勤利用者が増加していると推測される。
- 荃崎地区からの利用者には大きな変動はない。

	1月当たりの 平均利用者数	1便当たりの 平均利用者数
平成28年度	18,546人	9.5人
平成29年度第1四半期	19,113人	9.8人

▼グラフ12 つくバス南部シャトル利用者数



▼グラフ13 つくバス南部シャトル停留所別利用者数（日当たり）



5 路線別利用状況【谷田部シャトル】

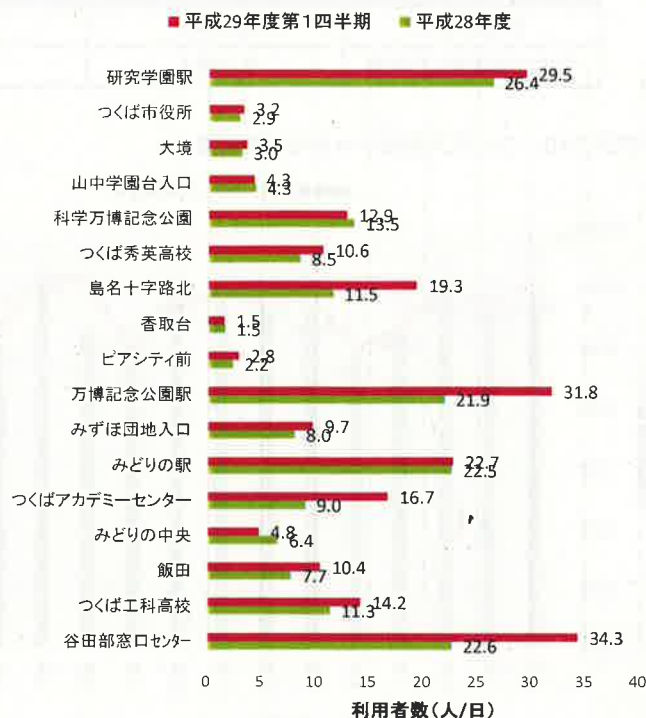
- 昨年度平均と比較すると、利用者数は増加している。1カ月当たり平均7,000人が利用している。
- 谷田部窓口センター、万博記念公園、島名十字路北などで利用者が増加している。小学生の通学利用者が増加していると推測される。
- 研究学園駅でも若干利用者が増加しているが、科学万博記念公園などの利用者が増加していないため、大人の利用者の増加は少ない状態である。

	1月当たりの 平均利用者数	1便当たりの 平均利用者数
平成28年度	5,574人	4.0人
平成29年度第1四半期	7,047人	5.1人

▼グラフ14 つくバス谷田部シャトル利用者数



▼グラフ15 つくバス谷田部シャトル停留所別利用者数（日当たり）



10

5 路線別利用状況【自由ヶ丘シャトル】

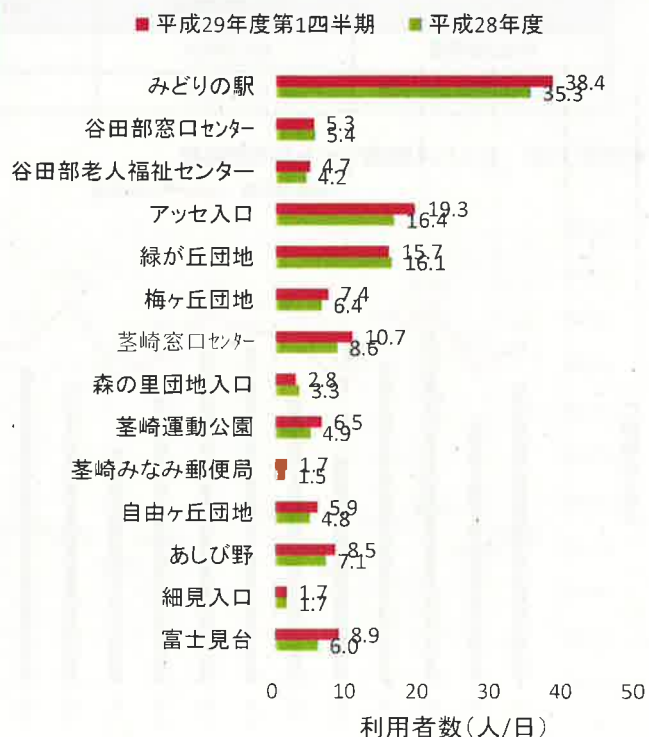
- 昨年度平均と比較すると、利用者数は増加している。1カ月当たり平均4,100人が利用している。
- 富士見台、荳崎窓口センター、アッセ入口、みどりの駅の利用者が増加している。
- 増加量は少ないが、あしび野、自由ヶ丘団地、荳崎運動公園なども増加している、荳崎地区から谷田部地区、みどりの駅方面への移動利用が増加していると推測される。

	1月当たりの 平均利用者数	1便当たりの 平均利用者数
平成28年度	3,698人	4.1人
平成29年度第1四半期	4,172人	4.6人

▼グラフ16 つくバス自由ヶ丘シャトル利用者数



▼グラフ17 つくバス自由ヶ丘シャトル停留所別利用者数（日当たり）

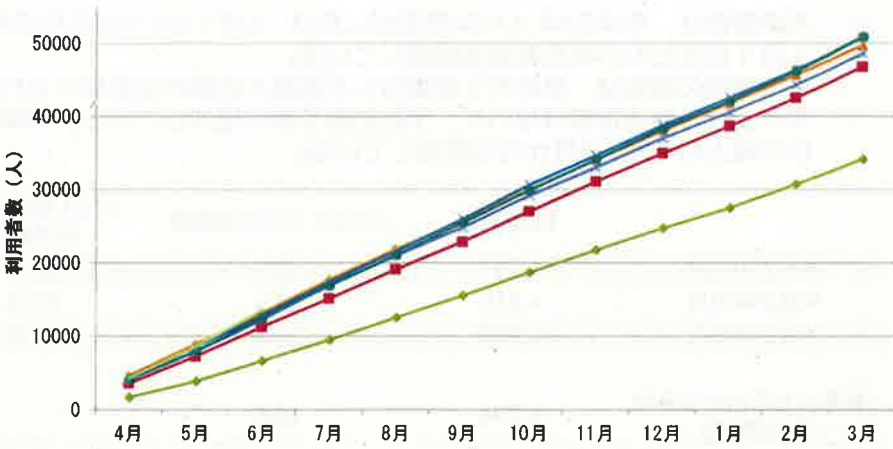


11

6 つくタク利用者数

第1四半期後計で約13,500人の利用があり、前年度比で約108%を占めている。

平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度



▼表02 つくタク利用者数

	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	利用者(人)	前年比増減(人)	前年同月比	利用者(人)	前年比増減(人)	前年同月比	利用者(人)	前年比増減(人)	前年同月比	利用者(人)	前年比増減(人)	前年同月比	利用者(人)	前年比増減(人)	前年同月比	利用者(人)	前年比増減(人)	前年同月比	利用者(人)	前年比増減(人)	前年同月比
4月	1,643	3,567	1,924	217.1%	4,559	992	127.8%	4,347	-212	95%	4,351	4	100%	4,079	-272	94%	4,284	205	105%		
5月	2,171	3,668	1,497	169.0%	4,305	637	117.4%	4,181	-124	97%	3,504	-677	84%	3,845	341	110%	4,310	465	112%		
6月	2,795	4,016	1,221	143.7%	4,251	235	105.9%	4,298	47	101%	4,402	104	102%	4,635	233	105%	4,966	331	107%		
7月	2,843	3,846	1,003	135.3%	4,558	712	118.5%	4,558	0	100%	4,711	153	103%	4,289	-422	91%			0%		
8月	3,062	3,979	917	129.9%	4,174	195	104.9%	4,174	0	100%	4,000	-174	96%	4,211	211	105%			0%		
9月	2,994	3,805	811	127.1%	3,882	57	101.5%	4,401	539	114%	3,839	-562	87%	4,430	591	115%			0%		
10月	3,148	4,101	953	130.3%	4,284	183	104.5%	4,680	376	109%	4,369	-291	94%	4,389	20	100%			0%		
11月	3,047	4,064	1,017	133.4%	4,021	-43	98.9%	4,007	-14	99.7%	3,828	-179	96%	4,209	381	110%			0%		
12月	2,985	3,862	877	129.4%	3,990	128	103.3%	4,095	105	102.6%	3,986	-109	97%	4,182	196	105%			0%		
1月	2,772	3,733	961	134.7%	3,776	43	101.2%	3,777	1	100.0%	3,541	-236	94%	3,767	226	106%			0%		
2月	3,231	3,841	610	118.9%	3,835	-6	99.8%	3,839	4	100.1%	3,737	-102	97%	4,093	356	110%			0%		
3月	3,429	4,238	809	123.6%	4,068	-170	96.0%	4,528	460	111.3%	4,276	-252	94%	4,682	406	109%			0%		
合計	34,120	46,720	12,800	136.9%	49,683	2,963	106.3%	50,865	1,182	102.4%	48,544	-2,321	95.4%	50,811	2,267	104.7%	13,560	1,001	108.0%		
月平均	2,843	3,893	1,050	136.9%	4,140	247	106.3%	4,239	99	102.4%	4,045	-193	95.4%	4,234	189	104.7%	4,520	334			

7 つくタク運行改善

■平成29年4月からの変更事項

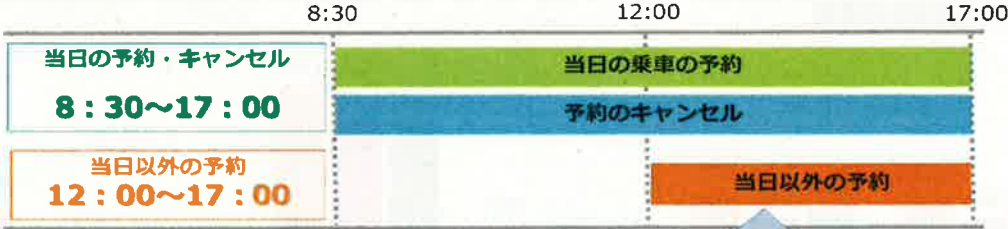
つくタク予約センターに電話が繋がらない、予約が取れないというご意見及び現状に対応すべく、以下の対応を実施した。

(1) つくタク運行車両を1台増台し、20台運行体制にする。配車地区は、予約お断りが多い、谷田部地区にする。

筑波地区	大穂豊里地区	桜地区	谷田部地区	荻崎地区	合計
4	4	3	6	3	20

(2) 予約センターのオペレータを5名体制から繁忙時間帯において6名体制に強化する。

(3) 予約センターへの入電量を分散すべく、受付内容（当日の予約、予約のキャンセル、当日以外の予約）に応じて、受付開始時間を分散させる。



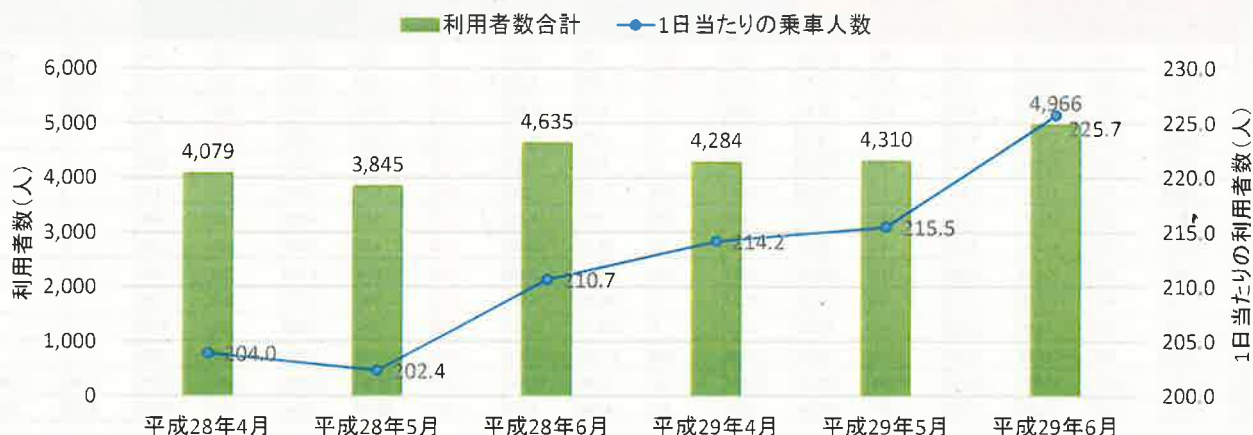
従来は、当日以外の予約、当日の予約、キャンセルの電話で8:30から混雑していた。そのため、当日以外の予約を12:00からとし、8:30からの入電量を調整する。

8 平成29年4月から6月全体的な利用状況

- 利用者数は、平成29年4月以降増加し続け、6月では1日当たりの利用者数は225人になった。
- 1日1台当たりの利用者数も微増している。
- 利用者数の増加は、車両を1台増台した効果と効率的な配車がされているためと推測される。
- キャンセル数の推移はないが、予約お断り数は増加している。車両が1台増台したことに伴い、5月は予約お断りが減少したが、6月からは増加している。

	利用者数	1日当たりの利用者数	1日1台当たりの利用者数	キャンセル数	予約お断り数
平成29年4月	4,284	214	10.7	497	106
平成29年5月	4,310	215	10.8	490	72
平成29年6月	4,966	225	11.3	545	190
(参考)1カ月当たり平均 (H28実績)	4,234	208		546	107

▼グラフ18 つくタク1日当たりの利用者数



14

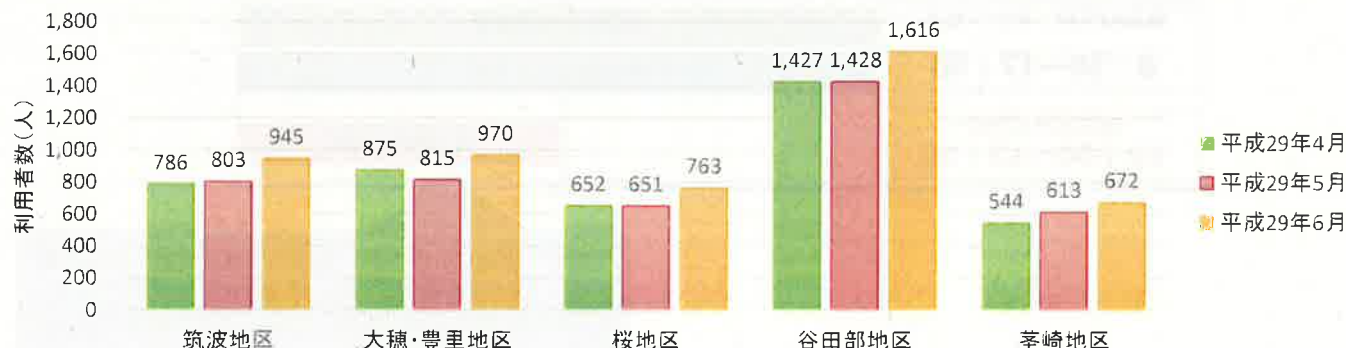
9 地区別の利用状況

- 車両を1台追加した谷田部地区において、利用者の増加が大きい。全地区とも利用者が増加している。
- 全地区とも利用者が増加していること及び1日当たりの利用者数が増加していることから、効率的な配車がされ利用者数が増加しつつあると推測される。

▼表03 地区別利用状況

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月
筑波地区	725	687	860	786	803	945
大穂・豊里地区	834	755	902	875	815	970
桜地区	684	644	759	652	651	763
谷田部地区	1,221	1,151	1,396	1,427	1,428	1,616
荃崎地区	615	608	718	544	613	672
利用者数合計	4,079	3,845	4,635	4,284	4,310	4,966
1日当たりの乗車人数	204.0	202.4	210.7	214.2	215.5	225.7
1か月1台当たりの乗車人数	214.7	202.4	243.9	214.2	215.5	248.3
1日1台当たりの乗車人数	10.7	10.7	11.1	10.7	10.8	11.3

▼グラフ19 つくタク地区別利用者数



15

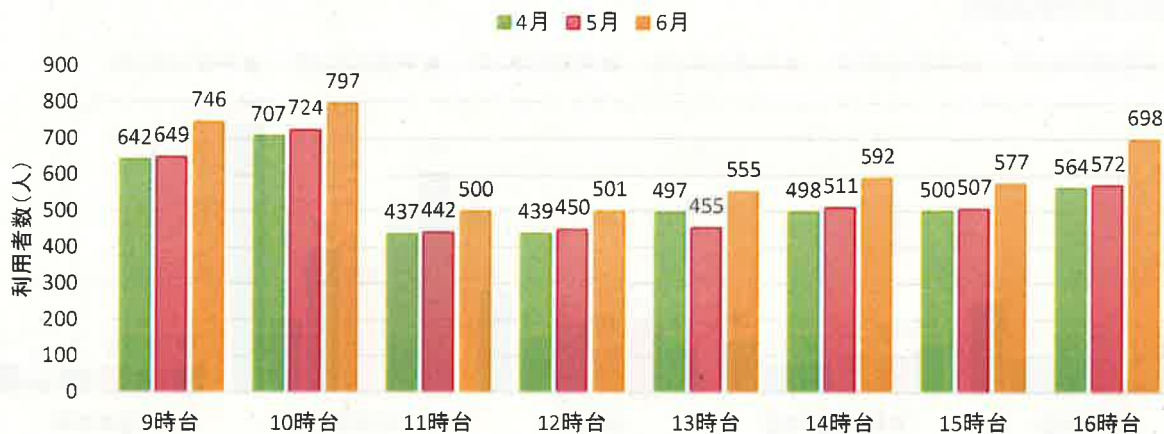
10 時間帯別利用状況

- 全時間帯とも利用者が増加しているが、特に、16時台の利用者の増加が顕著である。
- 16時台の利用のされ方について、詳細を分析をする。

▼表04 時間帯別利用状況

	4月	5月	6月	4月と6月の比較	増加率
9時台	642	649	746	104	1.16
10時台	707	724	797	90	1.13
11時台	437	442	500	63	1.14
12時台	439	450	501	62	1.14
13時台	497	455	555	58	1.12
14時台	498	511	592	94	1.19
15時台	500	507	577	77	1.15
16時台	564	572	698	134	1.24
合計	4,284	4,310	4,966	682	1.16

▼グラフ20 つくタク時間帯別利用者数

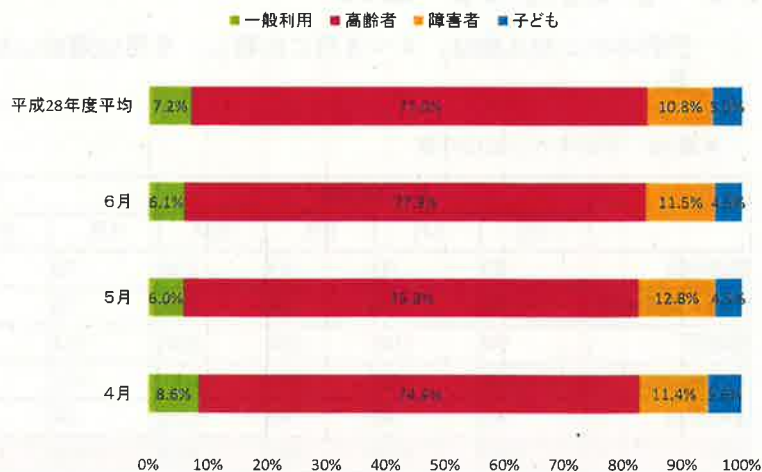


16

11 利用者属性

- 高齢者が約8割、障害者が約1割強、一般利用（子ども含む）が1割弱となっている。
- 平成28年度同様の傾向にあるが、若干、障害者の利用が増加している。

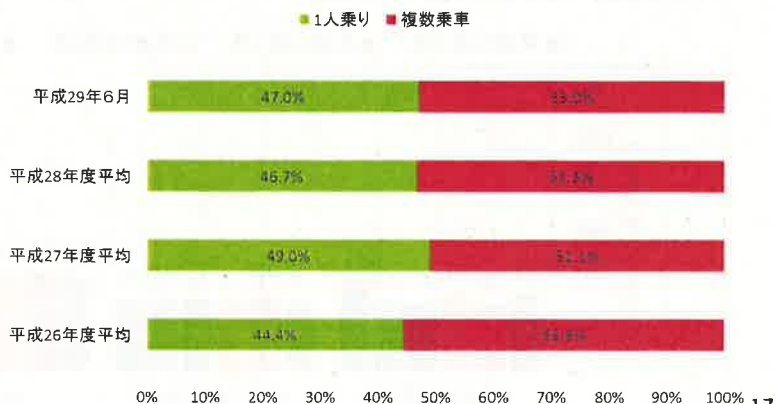
▼グラフ21 つくタク利用者属性



12 相乗り状況

- 平成29年6月の相乗りは約53%となり、5割以上が複数乗車となっている。

▼グラフ22 相乗り状況



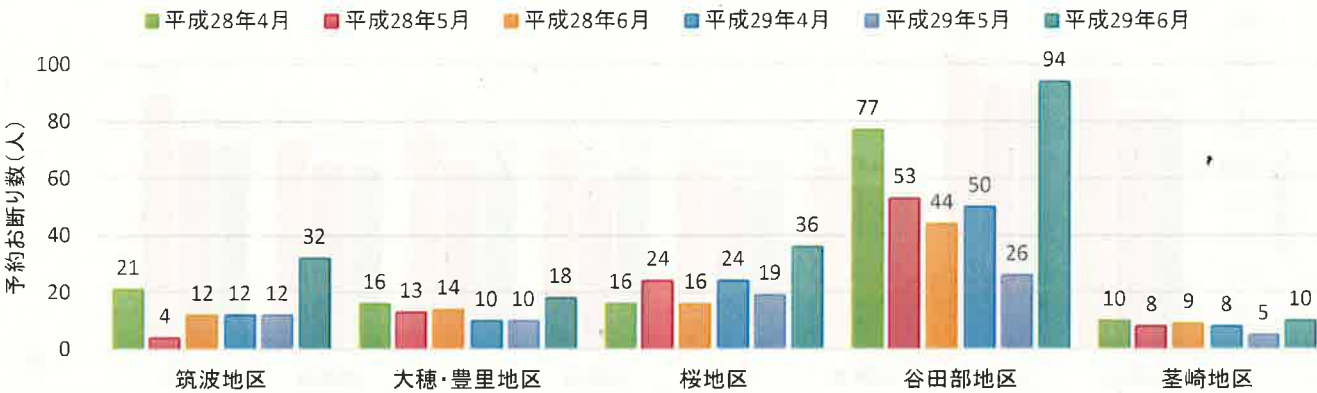
13 予約お断り

- 予約お断り件数は、4月、5月は減少したが、6月は増加している。
- 予約センターへ電話がつながりやすくなったため、電話はつながるが、予約が取れないという状況が起こりつつあるのか、状況をモニタリングしていく。

▼表05 予約お断り件数

	平成28年度			平成29年度			前年度比較		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月	4月	5月	6月
筑波地区	21	4	12	12	12	32	-9	8	20
大穂・豊里地区	16	13	14	10	10	18	-6	-3	4
桜地区	16	24	16	24	19	36	8	-5	20
谷田部地区	77	53	44	50	26	94	-27	-27	50
茎崎地区	10	8	9	8	5	10	-2	-3	1
合計	140	102	95	104	72	190	-36	-30	95

▼グラフ23 つくタク予約お断り



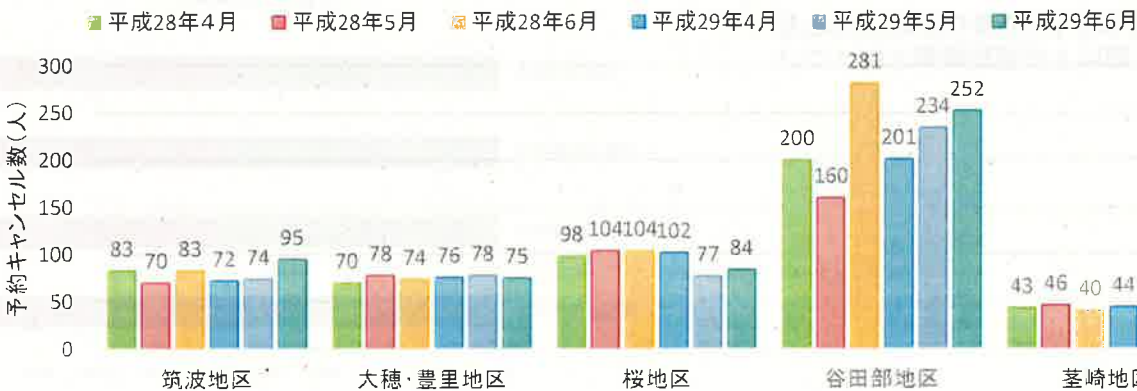
14 予約キャンセル

- 予約キャンセル数は、4～5月に比較し、6月は増加した。3か月合計で1,530件あり、ほぼ、昨年度同様である。

▼表06 予約キャンセル件数

	平成28年度				平成29年度				前年度比較			
	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計
筑波地区	83	70	83	236	72	74	95	241	-11	4	12	5
大穂・豊里地区	70	78	74	222	76	78	75	229	6	0	1	7
桜地区	98	104	104	306	102	77	84	263	4	-27	-20	-43
谷田部地区	200	160	281	641	201	234	252	687	1	74	-29	46
茎崎地区	43	46	40	129	44	27	39	110	1	-19	-1	-19
合計	494	458	582	1,534	495	490	545	1,530	1	32	-37	-4

▼グラフ24 つくタク予約キャンセル



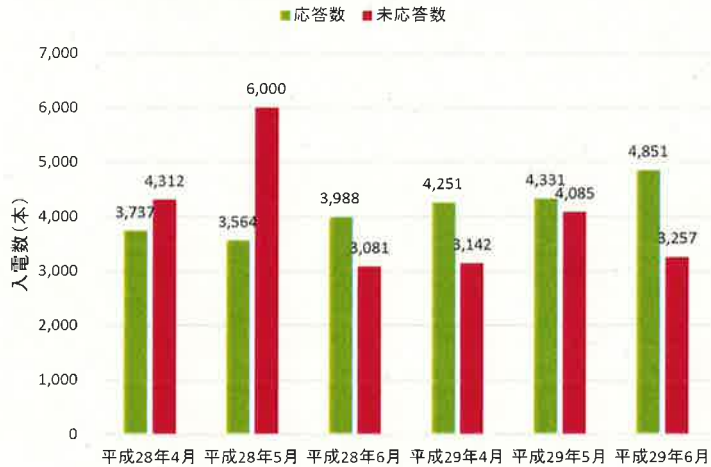
15 予約センターへの入電状況及び応答率について(1/2)

- 応答率が上昇し、電話がつながるようになったことから、入電量総数が増加しつつある。
- 入電量が増加しても効率よくオペレーションが回っていることから、応答数が増加している。

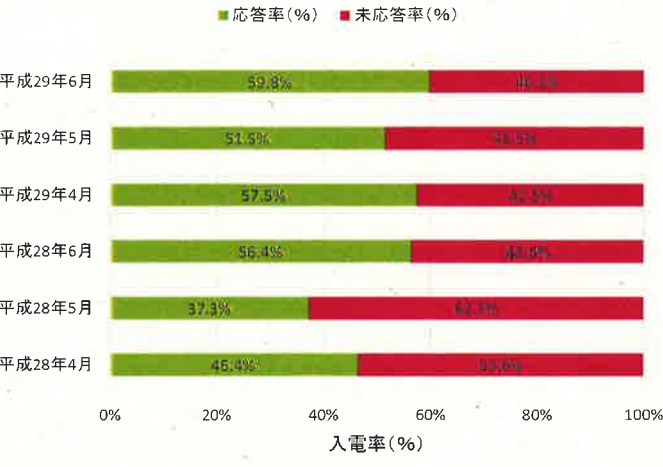
▼表07 入電状況について

	応答数(本)	応答率(%)	未応答数(本)	未応答率(%)	入電数合計(本)
平成28年4月	3,737	46.4%	4,312	53.6%	8,049
平成28年5月	3,564	37.3%	6,000	62.7%	9,564
平成28年6月	3,988	56.4%	3,081	43.6%	7,069
平成29年4月	4,251	57.5%	3,142	42.5%	7,393
平成29年5月	4,331	51.5%	4,085	48.5%	8,416
平成29年6月	4,851	59.8%	3,257	40.2%	8,108

▼グラフ25 電話入電量



▼グラフ26 電話応答率



20

15 予約センターへの入電状況及び応答率について(2/2)

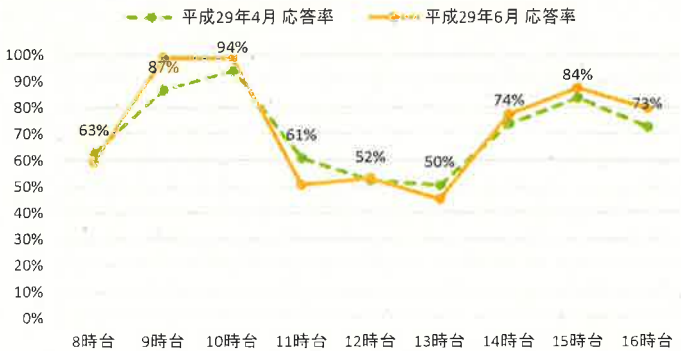
- 時間帯別の入電量としては、当日以外の予約の受付開始時間の12時に集中する傾向がある。
- 特定の時間のみが繋がらないという状況は若干解消したが、12時台13時台においては、まだ未応答率が高い傾向にある。
- 午後入電量が少ない時間帯（夕方）の応答率は改善傾向にある。

▼表08 電話入電量

	平成29年4月			平成29年6月			比較
	応答数	未応答数	入電量	応答数	未応答数	入電量	
8時台	400	239	639	435	300	735	96
9時台	487	82	569	469	6	475	-94
10時台	298	20	318	347	5	352	34
11時台	291	241	532	283	305	588	56
12時台	1,005	1,558	2,563	1,165	1,425	2,590	27
13時台	620	644	1,264	713	876	1,589	325
14時台	446	166	612	563	165	728	116
15時台	410	81	491	480	76	556	65
16時台	294	111	405	396	99	495	90
合計	4,251	3,142	7,393	4,851	3,257	8,108	715

▼表09 電話応答率

	平成29年4月		平成29年6月		比較
	応答率	未応答	応答率	未応答	
8時台	63%	37%	59%	41%	-3%
9時台	87%	13%	99%	1%	12%
10時台	94%	6%	99%	1%	5%
11時台	61%	39%	51%	49%	-10%
12時台	52%	48%	53%	47%	1%
13時台	50%	50%	45%	55%	-5%
14時台	74%	26%	77%	23%	4%
15時台	84%	17%	87%	13%	4%
16時台	73%	28%	80%	20%	7%
平均	71%	29%	72%	28%	2%



21

つくバス・つくタク改編の考え方と進め方(案)

平成29年8月10日

つくば市 都市計画部 総合交通政策課

1 つくバス改編の考え方と検討の方向性(案)

基本方針1：現行路線を継続して運行しつつ、市民ニーズに対応した公共交通網の形成

- ・現在の路線に対し、年間100万人の利用者が定着しているため、引き続き現行路線を継続して運行する必要がある。
- ・利用状況や利便性の観点から、利便性が低く、利用の伸びない路線については、一部路線の見直しを検討する。
- ・地域の移動の特性を踏まえつつ、つくタク運行事業と合わせて支線のあり方（支線として提供するサービス内容）を検証する。

《課題》

利用者が定着し、安定的な利用がされている路線については、運行を継続する必要がある。

交通需要及び市民の要望等を細かく把握し、適切に対応をしながら、バス運行をしていく。

利用が少ない路線について、利用促進を図るとともに、必要性について検討する必要がある。

利用が少ない停留所や地域について、地域の特性、需要・ニーズに合わせた支線の構築を検討する。

《検討の方向性》

方針1：既存路線の継続運行

- 利用者の増加している路線、定着している路線について、継続して運行する。

方針2：一部路線の見直し

- 速達性及び利便性の向上のために一部路線や停留所を見直す。
- 交通需要及び市民ニーズ等から、運行路線等を検証する。

方針3：新規の支線の充実

- 需要が小さい路線については、地域の特性に合わせた交通サービスを構築すべく検討する。

基本方針2：まちづくりと連携した公共交通網の形成

- ・都市計画と連携し、地域生活拠点（地域の生活圏の拠点）と中心拠点及び鉄道駅をバス路線ネットワークで接続する。
- ・つくばエクスプレス沿線開発の進展に伴い、新たなバス路線の開設を検討する。
- ・地域生活拠点における交通体系を充実させるため、交通拠点等を設け、バス路線の集積及び乗り換え等のサービスの充実を検討する。

《課題》

新規開発地域や、一定のニーズが発生している地域に対して、路線の検討を行う必要がある。

高齢化が進んでいる地区において、地域づくりを支える公共交通サービスの充実が必要である。

《検討の方向性》

方針4：将来的な路線の検討

- 交通空白地帯の市西部地区のための路線整備
- 高齢社会に対応するための交通サービスの提供
※つくタクの改編で対応することもあり。

2 つくバス・つくタク改編案の策定の進め方(1/2)

改編案策定に当たっての検討事項

1 現況及び意向

- 地区別懇談会
- 無作為抽出アンケート調査

- 公共交通利用者調査
- つくタク利用者調査

- つくバス利用実績
- つくタク利用実績

利用状況・利用意向の把握

2 検討過程

- 公共交通の概念の整理
「幹線＋支線」の概念の再検証

- サービス内容の整理
概念と市民意向等を踏まえ、新サービス案の整理

- 需要予測
新サービス内容についての需要予測と供給量の設定

- 経費試算
 - ・ 経費を試算し、予算計画を整理する。
 - ・ つくば市として公共交通政策に要する経費全体額についても検討する。

改編案の確定

3 改編案の策定

改編案の市民説明会

- 公共交通の概念の確定
- サービス内容の確定
- 予算計画の確定
- MM,普及広報活動の内容確定

改編案の確定

第2回活性化協議会（8/10）

第3回活性化協議会（10月中旬）

第4回活性化協議会（12月中旬）

第5回活性化協議会（2月下旬）

2 つくバス・つくタク改編案の策定の進め方(2/2)

交通体系改編案の作業工程

- 人口推移, 高齢化率, 市内の交通環境の変化等を把握
- つくバスの利用実績から路線の傾向を分析し, 路線の継続性について精査
- つくタクの利用実績から利用者の傾向を分析し, サービス内容について精査

- 市民意見の聴取(7月から地区別懇談会の開催)
- アンケート調査の実施(業務委託)
- その他, 意見要望等の整理と精査

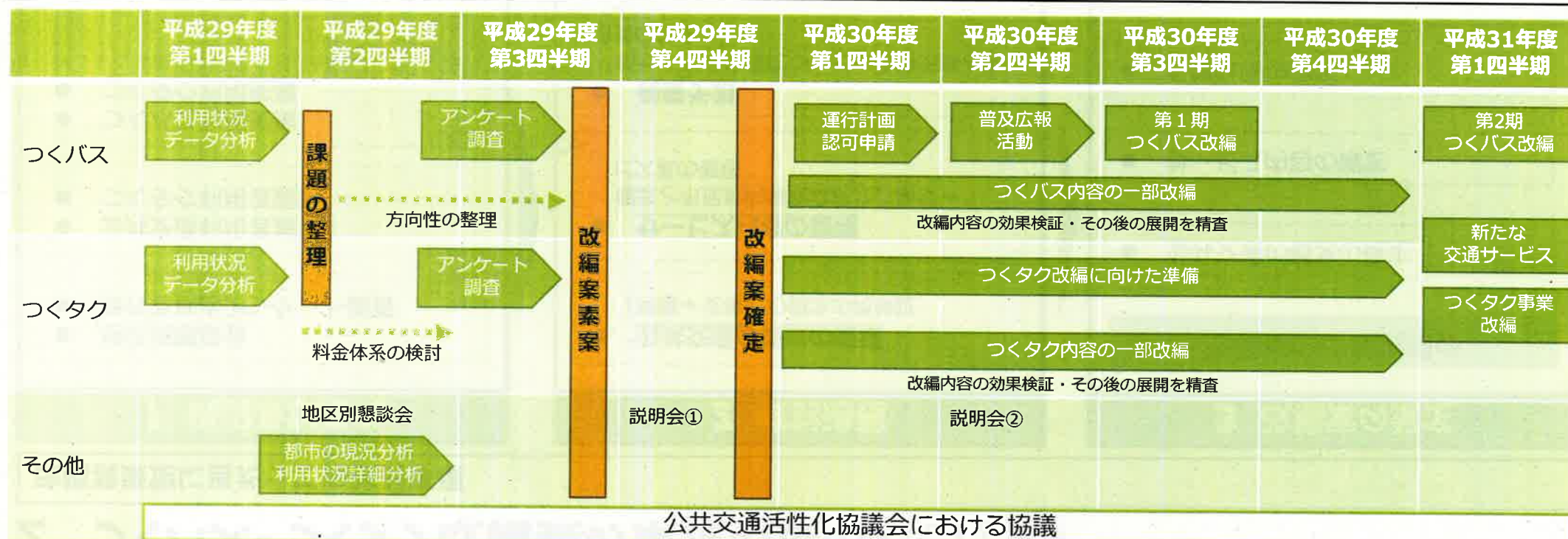
- ご意見と実績データ等を踏まえ, 改編案素案の作成
- 需要予測の実施
- 実施する事業の採算性について試算
- 改編案素案の完成

予算の確保

- 市民説明会で意見聴取
- 意見を踏まえ, 改編案を再整理

改編案の完成

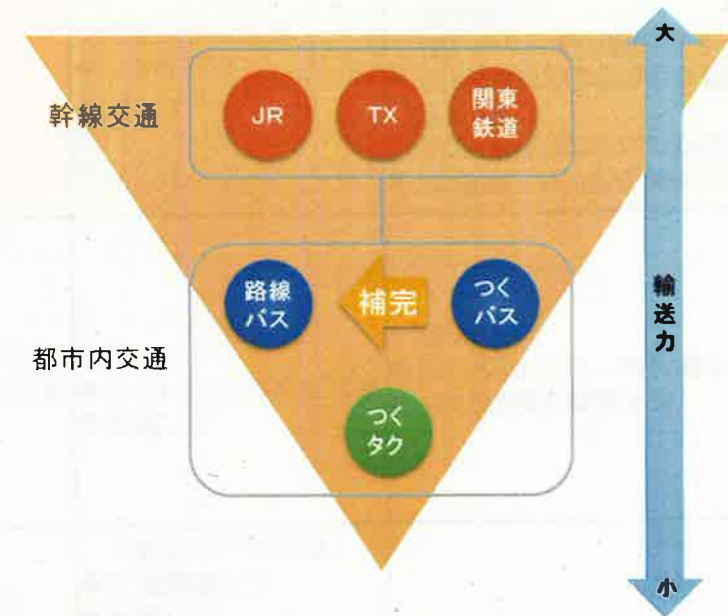
交通体系の改編の作業スケジュール



【検討資料】つくば市の交通政策の考え方について（1/3）

■つくば市の公共交通の現状

- 鉄道が市内及び東京方面との**広域移動の幹線交通**として機能。
→つくばエクスプレス, JR常磐線, 関東鉄道常総線
- バスが鉄道駅と市内の各拠点を結んでおり, **都市内交通**として機能。
→路線バス, つくバス (つくバスは路線バスを補完して運行)
- 上記以外のエリアは, **デマンド型交通**を運行。
→つくタク



■幹線＋支線システム

- 利用目的や需要に応じた適切なサービス提供を行うため, 公共交通機関や路線, 系統間の**役割分担**を図り, 公共交通を一体のネットワークとしてより効果的なものにし, 利便性向上を図る。

●幹線が担う役割

- つくば市内外を結ぶ**骨格的な交通機能**
- 市内中心拠点等と**近隣自治体の交通拠点等**を結ぶ交通機能
- 市内中心拠点等と**地域生活拠点等**を結ぶ交通機能

●支線が担う役割

- 地域内の**日常生活**に必要な交通機能
- 地域生活拠点等と**集落地域等**を結ぶ交通機能

幹線と支線概念は継続し, 提供するサービス内容を検討し, 充実を図る。

【検討資料】つくば市の交通政策の考え方について（2/3）

■幹線＋支線システムの概要

運行の考え方	運行区間	主な対象地域	サービスの提供方針	現行	改編案	検討課題
幹線	市内交通拠点（TX各駅）～県内・首都圏（TX各駅）	高密度 需要地域	【都市骨格幹線（鉄道）】 ●つくば市内及び市外を連絡する鉄道交通（TX）	●TX ●高速バス	●TX ●高速バス	
	市内交通拠点（TX各駅）～市内各拠点や近隣市交通拠点等	高密度 需要地域	【広域幹線バスネットワーク】 ●つくば市内外を連絡する路線バス ●つくば市と県内外を連絡する高速バス ●つくば市と市外拠点等を連絡する広域連携コミュニティバス	●路線バス ●高速バス ●広域連携バス（筑西市・桜川市）	●路線バス ●路線バス（牛久駅方面・利用者補助） ●高速バス ●広域連携バス（筑西市・桜川市）	●路線バスの利用者補助の基準の整理が必要
	市内交通拠点（TX各駅）～市内各拠点等	高密度 需要地域 中密度 需要地域	【都市内幹線バスネットワーク】 ●地域生活拠点等からTX各駅への速達性・直行性を確保し、運行頻度を高めたバスネットワーク（路線バス、コミュニティバス） ●TX各駅と近接する高密度住宅市街地、大学・研究機関、工業団地等を連絡するバスネットワーク（路線バス、コミュニティバス）	●路線バス ●つくバス（つくバス幹線）	●路線バス ●つくバス（つくバス幹線）	●現行路線を継続する。 ●生活圏を元に一部路線を変更
支線	集落地域等～地域生活拠点、行政・医療・商業施設等	低密度 需要地域	【デマンド型交通、その他多様な交通手段】 ●低密度の需要に対応した柔軟な交通サービス ●高齢者、交通弱者等の利用に対応した昼間の交通サービス	●つくタク ●民間タクシー ●福祉有償運送 ●タクシーチケット	●つくバス（つくバス支線） ●病院送迎バス ●企業送迎バス ●地域主体の交通	●需要見込みがある路線を選定or利用の少ない路線を改編 ●目的バスは団地内等を循環し+αでその他のバス停を回る。
					●つくタク(縮小) ●民間タクシー ●福祉有償運送 ●タクシー助成券(拡充)	●福祉的なサービス化していくか。

【検討資料】つくば市の交通政策の考え方について（3/3）

